

進路指導室へようこそ 3

前橋女子高校進路指導部

令和7年度 MJ 進路通信 第15号

令和7年6月20日(金)発行

■1 学期の総まとめを～来週から期末考査～

来週から期末考査。校外模試も含めると5日間の長丁場になります。中間考査以上に計画性が求められる1週間となります。体調管理にも留意しながらしっかり乗り切りましょう！

■メタバース講演会が開催されました

13日に、1・2年生を対象にした東京大学教授による講演会が行われました。東京学部工学部長の加藤泰浩先生(とんでもなく凄い先生だというのは開始5分ですぐ分かりましたね)をお招きし「みんなで未来を拓いていこう」と題して講演をいただきました。レアアース泥の開発の第一人者である加藤先生の話からは、資源開発を通じて平和な世の中を作っていきたい、という熱い想いが溢れ、また、文系理系の枠を超えて、自分たちの未来のために皆さんの力が必要だ(「頑張っ



■「みちしるべ」完成しました～先輩の体験談から学ぼう～

昨年度の卒業生の進学状況のデータをまとめた進路冊子「みちしるべ」が完成し、各クラスで配布されました。この「みちしるべ」には、卒業生たちの受験の様子や合格体験談のほかにも、さまざまな資料が載っていますので、上手に活用して、文字通り合格に向けての「道標」にしてほしいと思っています。合格体験談にばかり目が行きがちですが(もちろん合格体験談には皆さんにとって貴重な情報が満載ですが)、そのほかの資料にもしっかり目を通してほしいと思います。今回は、その「みちしるべ」をどう読み、活用していくかについてまとめてみました。

一般選抜			学校推薦型選抜	
月	前期日程	中期日程	後期日程	共通テストを課す 共通テストを課さない
7	7月下旬までに各大学の「選抜要項」(入試科目等)が発表される			7月下旬までに「選抜要項」(入試科目等)が発表される
8	7月上旬～10月上旬「大学入学共通テスト出願サイト」マイページ作成			
9	9月中旬～10月上旬 共通テスト出願(web出願)			推薦を希望するかどうか、担任と相談する。
10				校内選考を経て、推薦を受けたら書類作り
11	各大学が「募集要項」を発表(12月中旬まで) ⇒「募集要項」(2次試験用の願書は)生徒各自で取寄せ(ダウンロード) ※ただし、最近はWEB上での要項発表および出願が主流			出願(生徒) 出願(生徒) 受験(大学ごと) 小論文や面接、学科試験が課される。
12				
1	共通テスト(本試験) 1月17、18日 自己採点(センター試験の翌日、前女で実施) リサーチに結果送付 個別試験出願(2次試験出願)(前期・中期・後期を同時に出願) ⇒1月26日から2月4日まで			共通テスト試験 大学ごとに面接や小論文を行う。
2	前期日程試験 2/25～			合格発表(大学ごと)
3	前期合格発表 国立 3/6～10 公立 3/1～10 入学手続～3/15	中期日程試験 3/8～ 合格発表 3/20～3/24 入学手続～3/27	後期日程試験 3/12～ 合格発表 3/20～3/24 入学手続～3/27	

①入試のスケジュールについて調べてみよう

2ページ以降に記載されている「入試の概要」では、大学入試の大まかな流れや入試のシステム等についてまとめてあります。1年間の流れについて見通しをもっておくことはとても大事。これからどのような手続きが始まっていくのか、頭にいれておきましょう。受験に関わる諸経費もまとめてあるので、家族で受験の計画を立てる際にも参考になると思います。

②過去の先輩の受験状況から、自分の目標を定めよう

受験期が近づくと、「国公立大の第二候補はどのにすればよいのか」「私立の滑り止め(併願校)はどこから選べばよいのか」という相談をよく受けます。そんなときには「本校生が受験する大学ランキング」を見てみよう。もちろん学科やレベルにより選び方は多様ですが、毎年多くの生徒が受験する、ということは、それなりに本校の生徒が魅力を感じ、進学先の候補として考えていることの証でもあります。模試などで、「第8希望まで志望校が埋められない」と

いう人は、下の表から候補を探してみて、自分がどのレベルにいるのかを確認してみるのもよいでしょう。

③そして、やっぱり先輩方の合格体験談は、しっかり読んでおこう

皆さんにとっては、先輩方の合格体験談は、一番興味のある資料でしょう。自分が行きたい大学の体験談や、部活の先輩などの話であればなおさら気になるはずです。この体験談には、卒業生のさまざまな苦労や努力のエピソードが詰め込まれており、読むだけでもモチベーションが上がるのではないのでしょうか。

さまざまな卒業生の合格への道のりには、さまざまなストーリーがあり、その中から自分に適している勉強法や心構えなどを取り入れていくことが大切です。勉強の方法は「これがベスト」というものはなく、あくまで人それぞれにあったものがあるはずなので、全てを真似するのではなく、それぞれのいいところを取り入れて自分なりのベストな学習法を模索してほしいと思います。

今回の合格体験記には総勢23名の卒業生が原稿を寄せてくれましたが、実は「私も是非書きたい」という申し出はもっとたくさんあり（本当にありがたい限りです）、分野の重複やページ数の制約上の問題などでやむを得ず掲載数を絞らせてもらった、という経緯があります。合格後に快く体験談を提供してくれる生徒の多くが、「在学中の苦しい時期に、みちしるべの体験談や進路だよりのレポートなどに励まされたので、今度は自分が恩返しをしたい」と言ってくれています。

在校生の皆さんも、「合格したらみちしるべを書きたい」「合格したら3月の体験談報告会で後輩に話をしたい」という思いをモチベーションに変えて頑張っていってほしいと思います。

■「大学入試の基礎用語」（第4回：「女子枠」って、知ってる？）

2024年度の入試において、東京工業大学（現：東京科学大学）が推薦入試に「女子枠」を導入し、大きな話題になりました。入試において、「女子枠」を導入する大学は年々増加の傾向にあります。この、大学入試における「女子枠」。いったいどんな制度なのでしょうか。

女子枠が設けられる背景の1つには、多様性の確保というものがあります。女子枠のある学部多くは理工学部系統。特に工学部系統では、伝統的に男子学生の占める割合が高く、以前より女子学生にとっての敷居の高さに加え、多様性確保の課題が指摘されていました。また、多くの企業が大学に寄せる求人の希望として、「優秀な女子学生が是非ほしい」というものが近年激増している、という話を大学関係者からよく聞きます。それは商品開発や研究活動において、特に女性目線のアイデアや仕事への取組みの姿勢が、企業にとって欠かすことのできない（そして、極めて不足している）重要な財産になっているからといえます。

一方で、女子生徒がさまざまな大学や学部を選択するにあたり、多くのバイアス（もしかしたら、自分自身でも気づいていないかもしれない）により今でも進路決定に少なからず制約が生じているというデータもあります。「女子枠」導入には現在も賛否両論ありますが、そんな中でも多くの大学が導入に踏み切っているのは、それだけ大学や企業が未来の皆さんの力を必要としていることの証でもあります。

女子枠を設ける入試方式は、今のところ総合型選抜や学校推薦型選抜が中心であり、志望理由書や面接などを通して、学力試験だけでは測れない受験生の適性も丁寧に見ていく、というスタンスの現れでもあります。女子枠を有効に活用して、自分が活躍できる場所を探していく、というのも進路選択の1つになりつつあります。

ちなみに、「男子枠」はないのに「女子枠」だけって、逆に不公平では？という声もありますが、実は、「男子枠」というのもあるんです（知らなかったでしょ）。東京家政学院大学（令和7年度より一部学科で共学化）では今年度入試から「男子枠」を一部の入試に設定しています。女子大の流れをくむ大学では、今後このような動きがあるかもしれませんね。そうすると、お互い「ズルい!」と言えない（笑）。

本校生が受験する大学ベスト20

国公立大学

2025年度	人数	2024年度	人数	2023年度	人数
群馬	69	群馬	40	群馬	54
東北	40	東北	31	東北	30
高崎経済	39	新潟	20	新潟	17
新潟	36	高崎経済	19	高崎経済	16
筑波	24	筑波	15	信州	15
千葉	19	千葉	11	山形	15
群馬県立女子	17	金沢	11	横浜国立	15
信州	15	名古屋	11	筑波	13
茨城	12	山形	10	千葉	12
埼玉	12	信州	9	金沢	11
東京都立	12	大阪	9	富山	9
山形	11	群馬県立女子	8	東京	9
東京農工	9	お茶の水女子	7	福島県立医科	8
北海道	8	埼玉	6	埼玉	7
お茶の水女子	8	東京医科歯科	6	東京学芸	6
宇都宮	7	東京農工	6	お茶の水女子	6
東京学芸	7	福島県立医科	6	北海道	6
富山	7	宇都宮	5	茨城	6
金沢	7	東京学芸	5	岩手	6
都留文科	7	東京工業	5	大阪	5
秋田	6	前橋工科	5	東京都立	5
京都	6	群馬県立県民健康科学	5		
東京	5	横浜市立	5		
大阪	5				
神戸	5				

